家庭教育学級

親の学びナビ

「うれしい明日」
の芽を育てよう

茨城県水戸生涯学習センター

更なる家庭教育学級の充実を目指して

本来家庭は，子どもたちの生活習慣の定着や自立心の育成，心身の調和のとれた発達を担うなど，子どもの教育に関して第一義的な責任を有していますが，近年の核家族化，少子化，共働き家庭の増加，地域の人間関係の希薄化などの急激な環境変化の中で，家庭の教育力の低下が指摘され，社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっています。

また，昨年の東日本大震災が地域全体に与えた影響は多大であり，経済的基盤が揺らぎ，心にゆとりをもてないという困難な状況の中で，地域の方々は力を合わせて復興に努めています。長期間を要するという災害復興においては，将来その主体となる子どもたちやその生活の場である家庭を地域全体で支え合う社会づくりは，今後社会教育分野における大きなテーマ，課題となるでしょう。

家庭教育において，乳幼児期の親子の絆の形成に始まる家族とのふれあいは「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成するものであり，すべての教育の出発点です。

親は，子どもの教育に対する責任を自覚し，家庭が本来果たすべき役割を見つめ直し，子どもの教育を学校に一方的に任せるのではなく，これからの社会を生きる子どもにとって何が重要でどのような資質や能力を身に付けていけばよいのかについて深く考えることが重要となります。

私たち社会教育に関わる機関は，家庭教育を更に充実させるために家庭教育に関する学習機会の充実，子育て支援ネットワークづくりの推進，親子の共同体験の機会の充実，父親の家庭教育参加の支援・促進を図る各種事業を実施しています。これらの施策を通して，参加者（親）が家庭教育の重要性について再認識し，それぞれの家庭においてこれからの時代にふさわしい子どもの教育の在り方を確立し，子どもたちが「ゆとり」と「潤い」のある家庭生活の中で「生きる力」を育んでいくことを期待しています。

このようなことを踏まえ，今年度の学習プログラム開発は，よりよい「親の学び」の学習機会を充実させるために，家庭教育学級の企画並びに運営に関するマニュアル作成に力点を置き，県内各市町村で実施している，家庭教育学級を支援する体制づくりを進めるための，プログラム集の開発を行いました。

各市町村教育委員会並びに生涯学習関連施設等におかれましては，このマニュアルを講座の企画・立案の際の参考にしていただき，よりよい家庭教育の支援を行っていくことを期待しております。

最後になりましたが，本学習プログラム開発事業の実施に際しまして，御協力をいただきました開発委員の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成 24 年３月

茨城県水戸生涯学習センター管理事務所長　池田　　馨

目　次

Ⅰ 家庭教育学級を進める皆さんへ …… P1

Ⅱ 家庭教育学級プログラム例 …… P9

①「総合的な内容を網羅した家庭教育学級」 …… P9
②「思春期に関する内容を中心とした家庭教育学級」 …… P10
③「公民館が主体となって行う家庭教育学級」 …… P11
④「小規模校が実施できる家庭教育学級」 …… P12
⑤「複数校が連携した家庭教育学級」 …… P13
⑥「食育を中心とした家庭教育学級」 …… P14
⑦「ワークショップを中心とした家庭教育学級」 …… P15
⑧「体験活動を中心に,郷土愛を育む家庭教育学級」 …… P16
⑨「NPO団体と連携した家庭教育学級」 …… P17
⑩「防災に関する内容を中心とした家庭教育学級」 …… P18

Ⅲ 家庭教育学級講座実践例 …… P19

① 「思いやりの心」を育てる …… P19
② 父親の子育てを学ぶ …… P20
③ あなたの身体を守ります!～健腸生活していますか～ …… P21
④ 子どもの人権 …… P22
⑤ 震災と心のケア …… P23

Ⅳ 家庭教育学級領域例 …… P24

Ⅰ 家庭教育学級を進める皆さんへ

Q1

なぜ，家庭教育が必要なのですか。

A1

「家庭」とは，愛情による絆で結ばれた場であり，常に子どもの心の拠り所となるものです。子どもが生きていくための基礎を培う場でもあります。

「家庭教育」とは，すべての教育の出発点であり，子どもの健全な身体と人格の発達のために，親またはそれに準ずる大人が子どもに対して家庭で行う教育です。

その親の学びの場の一つとして **家庭教育学級** があります。

Q2

家庭教育学級とは，どんなことをするのですか。

A2

家庭教育学級は，親や保護者が家庭教育に関する学習を，一定期間に渡って計画的・継続的かつ集団的に行うものです。

子どもたちの健やかな成長と豊かな人間性形成のために親や保護者が相互に学び合う場であり，子育てに関する学習を主体的に行い，子どもの健全な育成を図ることを目的としています。

家庭教育学級は，わが子のために，親として自分自身を見つめ直す大事な時間です。

子育ての悩みや苦労などを参加者とともに話し合ったり，体験したり，知識を得たりしながら親自身が成長していく親の学び講座でもあります。

家庭教育学級講座を実施するためには，中心となるリーダー（家庭教育学級長）が必要となります。

Q3

家庭教育学級の委員はどんなことをするのですか。

A3

家庭教育学級を進めるにあたって，主に次の役割があります。

❶ 家庭教育学級長	❷ 家庭教育学級委員	❸ 家庭教育学級生
リーダー・まとめ役 （子育てを学ぶ機会の提供）	学級長のサポート （子育てを学ぶ機会の提供）	保 護 者 （学びへの参加，仲間づくり）

子育て親育ちのための保護者の学びを推進するために全員で協力していきましょう。

市町村の家庭教育担当者（生涯学習課・公民館等）や，他の保護者と協力し合って，子どもの成長に望ましい取り組みを行っていきましょう。

- 学びの場と内容の提供（子どもの心身の発達を正しく理解する，家庭における親のあり方について再認識する等）
- 保護者同士の交流の場づくり
- 親子のふれあいの場づくり

A3

みんなで楽しみながら，ともに学び，ともに悩む時間にしていきましょう。
家庭教育学級委員を中心に，保護者の意見やアイデアを盛り込みながら，様々な活動を企画・運営していくことができるのが家庭教育学級です。
子どもたちのために保護者全員で取り組める時間としていきましょう。
日頃から悩んでいることについて意見を出し合い，それをテーマにしてみましょう。

Q4

家庭教育学級の講座はどのように計画すればよいですか。

A4

まず，全体の計画を立てるに当たって，大きく4つの項目を考えてみましょう。

①家庭教育学級のテーマを考えてみましょう。➡ Q5
②年間計画を立てましょう。➡ Q6
③一つ一つの講座を考えましょう。➡ Q8
④講師を探しましょう。➡ Q9

Q5

家庭教育学級のテーマはどのように考えればよいですか。

A5

「家庭教育学級のテーマを考えてみましょう。」

Ⅰ テーマは，ねらいをおさえ，様々な課題をもとに，大きくとらえたものにしましょう。

Ⅱ 地域や学校の実態をもとに，今，この学年で学習する必要がある内容は何か，委員の皆さんで案を出し合ってみましょう。

話し合いのポイント
①保護者の意識，悩み
②子どもの実態
③今日的課題，社会問題

Ⅲ 話し合った中から年間のテーマを考えてみましょう。
子どものよりよい成長を図るために，子どもとともに伸びる親となるために，どうしたらよいかという視点で整理してみましょう。
テーマを1つと考えられない場合には，複数のテーマを考えてみてもよいでしょう。

キーワード　支え合う，助け合う　など
やわらかい表現で親しみやすいものにしましょう。

テーマ例　親子のふれあい，絆を深めよう
親の気付き，発見を助ける家庭教育学級

テーマについては，P9～P18を参考にしてみましょう。（プログラム例）

Q6 年間計画は，どのように作成すればよいですか。

A6 「年間計画を立てましょう。」

作成しても，計画はいつでも変更（修正）可能です

Ⅰ テーマに沿った1年間の計画を作成してみましょう。
回数や時期・時間については，市町村の家庭教育担当者や学校（園）に相談してみましょう。
実態や学習内容に合わせて決めていきましょう。

Ⅱ 社会状況や発達段階による「学ぶべきこと」と参加者の「学びたいこと」をバランスよく設定しましょう。
一人一人の保護者が自主的，積極的に参加することができるよう，継続性と実用性を考えた講座運営にしていくとよいでしょう。
毎日の生活の中の課題や子どものことで知りたいと思っていることをあげていきましょう。

①保護者の意識，悩み
例：「学習意欲を高める」，「どこまでがしつけ」，「いじめと登校拒否」

②子どもの実態，発達段階

・乳幼児期…

- **情緒の安定をもたせる**
  例：「よりよい親子のコミュニケーション」
- **基礎的な生活習慣をしつける**
  例：「早寝・早起き・朝ご飯」
- **自然や生物を愛護する心をつちかう**
  例：「五感を使って自然を感じよう」
- **対人関係における自制力を身につける**
  例：「がまんする心の育て方」
- **危険から身を守る能力を身につける**
  例：「親子で学ぼう！ 護身術」

・少年期…

- **ものの感じ方・考え方の基本を育成する**
  例：「江戸しぐさから学ぶ」
- **自律性や協調性をつちかう**
  例：「相手を尊重した自己主張を学ぼう」
- **健康・安全についての能力を身につけさせる**
  例：「親子で学ぶ食の安全」

・今日的課題，社会問題
例：「食育」，「ネットと携帯電話」，「不審者」，「防災体験」

Ⅲ 一つの方法として，学校行事等と一緒に実施できるか相談しましょう。
就学時健診，授業参観など，学校（園）の行事がある機会をとらえて開催すると，参加者が集まりやすいため，多くの保護者に学びの場を提供することができるという利点があります。
事前に学校側と打合せをしておき，親としての学びにつながる内容を取り入れてもらうと効果的です。

例：学校保健委員会後に，家庭教育学級として話し合いをもつ。

また，近隣の学校（園）と連携して行うことができるか相談してみましょう。参加者増や謝金の分担などもできます。
もし，悩んだ時には，市町村の家庭教育担当者に気軽に相談してみましょう。

年間計画については，P9～P18を参考にしてみましょう。（プログラム例）

講座内容については，P19～P23を参考にしてみましょう。（領域例）

Q7 どのような学習の方法があるのですか。

A7

組み合わせることによって学びも深まり，楽しみもアップします。

例：体験学習　＋　情報交換

講演会型

講師が一定のテーマで，講義して述べる形式

- テーマに適した講師を依頼し，専門的な話をしてもらうなど，課題に応じた学びの場をつくりましょう。
- 市町村の家庭教育担当者や学校（園）に相談し，テーマに適した講師を選定しましょう。
- 保護者が参加しやすい開催時間や場所などを設定しましょう。

井戸端会議型（フリートーク型）

一定のテーマについて少人数で話し合う形式

- 話をすることによって悩みや不安を軽減・解消することができ，自分の子育てに安心感や自信をもつことができます。
- 保護者同士のつながりができやすくなります。
- グループの人数は誰もが話せるよう7人程度とし，進行役をおくとよいでしょう。事前にテーマを設定し，伝えておくと意見を引き出しやすくなります。

体験学習型

活動の目的に従い，実際に身体を動かしたり，物をつくったりする活動

- 体験学習をとおして，家族のふれあいができます。
- 楽しみだけで終わることなく，家庭教育に関する講話や情報交換を取り入れ，学びにつなげましょう。
- 父親の参加を促すなど，家庭でのふれあいが深まり，その後の発展が期待されるような工夫をしましょう。

その他に，

シンポジウム型

2人またはそれ以上の人が同一の問題の異なった面をあらわすように講演し，おのおの意見を述べ，聴衆または司会者が質問し，講演者がこれに答えるもの。講演がメインになっていること，講演者同士よりも，講演者と聴衆との質疑応答に重点が置かれている。

ワークショップ型

一定のテーマについて，これまでの体験や考え方をもとに自由に意見を交換する。

などがあります。

Q8 一つ一つの講座は，どのように進めていけばよいですか。

A8 「一つ一つの講座を考えましょう。」

講座は，「**事前**」「**当日**」「**事後**」の3本柱でとらえましょう。
委員の皆さんでそれぞれ役割分担をしておくと進めやすいでしょう。

事前

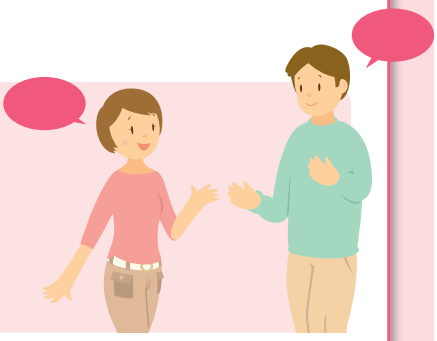
（1）学習内容の設定
（2）期日・日程・会場の調整と決定
（3）講師の選定と依頼，打合せ
（4）開催案内の作成・配布
（5）諸準備

打合せや準備をしましょう。

事前に，資料（アンケート結果グラフ等）を配布したり，当日のテーマについてワークシートに考えを記入しておいてもらったりすることで，参加者の家庭教育学級への意識付けを図ることができます。分かりやすい内容で，取り組みやすいものを作成しましょう。

当日

（6）当日の進行・講師のサポート・アンケートの配布と回収



<当日の進行のポイント>
①講座のねらいを伝える
②参加者の学びをまとめる，認める
③今後の方向を示す
④感想を集める

事後

（7）委員の反省会
（8）参加できなかった学級生向け通信の作成・配布

講座実施当日などに，簡単な反省会をもちましょう。

参加者の意見やアンケート結果を参考にし，今後の学習内容や学習形態を見直しましょう。

年度末には全体の成果と課題をまとめ，次のリーダーに引き継ぎましょう。

また，参加できなかった学級生向けに，当日の感想（手書きのアンケートなどは思いが伝わりやすいでしょう）等を載せた簡単な通信を配布できるとよいでしょう。

学習の進め方（参考例）

1 家庭教育学級 開級式の主な進め方

1　開式のことば（　　）　　司会進行（　　）
2　主催者あいさつ
3　学校長あいさつ
4　役員の紹介〔学級長　副学級長　係員　運営委員等〕
5　学級長あいさつ
6　年間学習計画(案)について　（　　）
7　諸連絡　（　　）
8　その他
9　閉式のことば（　　）

開級式終了後に学習会，または講演会等を実施することも考えられます。

2 講話を中心にした 学習の主な進め方

1　開会のことば（　　）　　司会進行（　　）
2　学級長あいさつ
3　講師紹介　（　　）
4　講話
5　講師と参加者との意見交換，または参加者相互の話し合い
6　謝辞　（　　）
7　閉会のことば（　　）
8　アンケート回収，通信の作成と配布

会議形式ではなく，和やかな雰囲気をつくるために形態の工夫をすることも大切です。（コの字型・半円形型など）

3 井戸端会議による 学習の主な進め方

1　開会のことば（　　）　　司会進行（　　）
2　学級長あいさつ
3　学習課題の確認（話し合いの進め方を確認）
4　講師紹介
5　グループでの話し合い
A班（　　名　助言者：　　）　B班（　　名　助言者：　　）
C班（　　名　助言者：　　）　D班（　　名　助言者：　　）
6　グループごとの発表
7　講師指導（代表の講師1名によるまとめ）
8　閉会のことば（　　）
9　アンケート回収，通信の作成と配布

助言者は必要に応じて入れましょう。

4 体験活動による 学習の主な進め方

1　開会のことば（　　）　　司会進行（　　）
2　学級長あいさつ
3　学習課題の確認(体験活動の趣旨)
4　講師紹介
5　体験活動の趣旨に応じた活動

親子給食➡食育の話　　焼き物体験➡焼き物の歴史

6　講師指導
7　閉会のことば（　　）
8　アンケート回収，通信の作成と配布

家庭教育に関する内容でまとめてもらいましょう。

茨城県内には親子で学べるたくさんの施設があります。無料で利用できる施設もありますので，移動学習や現地学習の際には，積極的に活用することをお勧めします。学校を離れて，思いきり活動するのもおもしろいでしょう。

「いばらき子どもいきいき自然体験フィールド100選」

フィールド100選　検索

http://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/taiken/100sen/top.html から
ダウンロードできます。

青少年施設

茨城県立西山研修所		
〒313-0041	常陸太田市稲木町1699のイ	0294-72-0359
茨城県立中央青年の家		
〒300-4101	土浦市永井987	029-862-3500
茨城県立白浜少年自然の家		
〒311-3823	行方市白浜1466	0299-73-2345
茨城県立さしま少年自然の家		
〒306-0416	猿島郡境町大字伏木2095−3	0280-86-6311

一つ一つの講座の進め方については，P19 ～ P23 を参考にしてみましょう。（実践例）

文例（案内通知文，報告書様式例等）については，http://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/ から
ダウンロードすることができます。

＊家庭教育学級に関連する資料＊

家庭教育ブックひよこ（3 歳～ 5 歳の子の保護者向け）
家庭教育ブック（就学前～ 小学校 4 年生の児童の保護者向け）
家庭教育ブックつばさ（小学校 4 年生～小学校 6 年生の児童の保護者向け）

家庭教育ブック　検索

http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/katei/index.htm から
ダウンロードできます。

平成 22 年度	家庭教育ブックを活用した「親の学びプログラム」の開発と検証について 「家庭教育ブックを活用した親の学び講座」実践事例集
平成 21 年度	家庭教育ブックを活用した「親の学びプログラム」の開発と検証について 「家庭教育ブックを活用した親の学び講座」実践事例集
平成 20 年度	現代的な課題に関する学習機会の提供について 「モデルとなる家庭教育学級講座」実践事例集3
平成 19 年度	現代的な課題に関する学習機会の提供について 「モデルとなる家庭教育学級講座」実践事例集2
平成 18 年度	現代的な課題に関する学習機会の提供について 「モデルとなる家庭教育学級講座」実践事例集1

http://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/houkoku/program.htm から
ダウンロードできます。

Q9

講師を依頼したいのですが，どうすればよいですか。

A9

「講師を依頼しましょう。」

学習内容に応じた講師を選ぶことで，参加者の学習が深まり，満足度も高まります。

①専門家（学識経験者）
②地域人材（地域ボランティア，NPO団体等）
③身近な人材（学校医，学校薬剤師，養護教諭，栄養教諭等）

講師派遣の依頼や謝金については市町村の家庭教育担当者や学校（園）に相談しながら進めていきましょう。
連絡を密にすることでよりよい運営ができます。

講師依頼の流れ

（市町村内居住者）●教育長 ●学校・園・所長 ●社会教育指導員 ●社会教育主事 ●家庭教育指導員 ●市町村職員 ●大学教授 ●退職教員 ●企業 ●NPO など

講 師 決 定

- 大学・企業・NPO
- （県内）生涯学習センター・ふれあいサポートセンター
- （市町村）教育委員会・生涯学習課・公民館
- （市町村）小・中学校，幼稚園，保育園，保育所

主な講師リストについては，P24～P27を参考にしてみましょう。（領域例）

さあ，いよいよ家庭教育学級のスタートです。

モデルとなるプログラム①

総合的な内容を網羅した家庭教育学級（一般的な家庭教育型A）

1 家庭教育学級のテーマ

親の気付き，発見を助ける家庭教育学級とは？

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考
1	1．開級式 2．講話 「生きる力は家庭教育で」	講話・ 情報交換	1.5時間	
2	コーナー別井戸端会議 「子育てママの国際交流(世界の子育て事情を考える)」	情報交換	2.0時間	
3	体験活動 「パパと一緒に遊んじゃおう！元気アップ親子セミナー」	体験活動	3.5時間	
4	合同家庭教育講座 「一緒に考えてみませんか！子どもたちの将来のために」	シンポジウム・ コーナー別情報交換	2.0時間	
5	親学び学習会 「みんなで子どもの健康と安全を考える」	講話・実技	2.0時間	
6	1．講話 「動物からの贈り物」 2．体験活動 移動水族館・移動動物園	講話・ 体験活動	2.0時間	
7	1．授業参観 2．講話 「いま大切にしたいこと」 3．閉級式	講話・ 情報交換	2.5時間	

3 作成にあたって(工夫点，注意点)

このモデルは，平成20年に水戸市の幼稚園と保育園が合同で実施した内容です。この講座は全７回で計画し，コーディネーターと家庭教育学級委員を中心に意見を交換しながら，親の気付きや発見を助ける家庭教育学級の場を設定しました。

実施にあたっては，様々な分野の専門的な方々と一緒に考えるために，井戸端会議形式を取り入れたのも特徴の一つです。参加者が自由に発言できる場の設定は，大変充実したものとなりました。

また，他団体と連携し，父親を参加させる手立てや体験活動の重視を実施できたことも特徴です。話を聞くばかりではなく，参加型の講座を考えることも大切です。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム②

思春期に関する内容を中心とした家庭教育学級（一般的な家庭教育型B）

1 家庭教育学級のテーマ

家庭教育学級生の親睦を深めるとともに，
家庭教育の重要性を認識し，家庭教育の活性化を図る。

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考
1	1．開級式 2．ひびき合うコミュニケーションのコツ	講話・ ワークショップ	2.0時間	
2	赤ちゃんとの出会い・ふれあい（命をいつくしむ）	体験・講話 フリートーク	2.0時間	
3	心を育てる田舎暮らし	講話・ フリートーク	2.0時間	
4	子どもの転機	講話・ ワークショップ	2.0時間	
5	今，大切にすべきこと（子どもの心の緊張をほぐす）	講話・ ワークショップ	2.0時間	
6	フィリピン料理「アドボ」を作りながら，海外の子どもたちの実態について考える	体験活動・ フリートーク	3.0時間	
7	成長期の栄養について（骨密度検査の結果をふまえて）	学 習 会	2.0時間	
8	家族の絆（あなたにとって家族とは）	ワークショップ	2.0時間	
9	親子絵手紙作り（親は子へ，子は親へ）	体験活動・ フリートーク	2.0時間	
10	今こそ夢と希望を育てる家庭教育学級	講話・ ワークショップ	2.0時間	

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

学習内容を思春期の身体と心の成長など身近なものとし，新しいものと古いものを取り入れながら，互いに交流する中で，子どもの行動や心理を理解できるような学習形態を工夫したものです。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム③

公民館が主体となって行う家庭教育学級（一般的な家庭教育型C）

1 家庭教育学級のテーマ

子どもを正しく理解し，健やかに育てるための家庭教育のあり方を学習し，学級生間の親睦を深め，活発な意見交換の場をつくる。

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考
1	1．開級式 2．子育ては子どもの目の高さで	講話・ フリートーク	2.0時間	
2	親と遊ぼう 親子草取り作業	体験学習・ フリートーク	2.0時間	
3	日々の生活から歯の健康を考える	学 習 会	2.0時間	
4	子どもの気になる行動を考える	ワークショップ	2.0時間	
5	食と睡眠について	講話・ ワークショップ	2.0時間	
6	絵本の読み聞かせについて（親子読書）	講話・ 体験学習	2.0時間	
7	とっさのときの救命救急「身近な事故について」	体験学習	2.0時間	
8	動物からの贈り物（動物の子育てから学ぶ）	講話・ フリートーク	2.0時間	
9	映画鑑賞会及び昼食会	体験学習・ フリートーク	3.5時間	
10	1．閉級式 2．子育てに思うこと	講話・ フリートーク	2.0時間	

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

学習内容をできるだけ身近なものとし，参加者同士で作業をしたり，話し合ったりすることを通して，自分の子育てを振り返ったり，他の人の話を聞いたりして，これまで気づかなかったことに気づき，大切なことを再確認できるような学習形態を工夫しました。

視聴覚教材については，図書館等から借用することもできます。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム④

小規模校が実施できる家庭教育学級（学校行事と抱き合わせ型）

1 家庭教育学級のテーマ

親学のすすめ ～豊かな家庭生活を目指して～

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考（学校行事等）
1	1．開級式 2．講話 「家庭教育学級について」	講話	1.0時間	PTA総会 終了後
2	体験活動 「親子で交通安全 ～自分の身を守る方法～」	体験活動	3.0時間	交通安全教室
3	1．講話 「バランスのよい食事とは」 2．給食試食会	講話・ 体験活動	3.0時間	給食試食会
4	講話 「家庭教育学級の在り方とは」	講話・ 情報交換	1.0時間	
5	体験活動 「危険から身を守る（救急法）～いざというときの対処法～」	講話・実技	1.0時間	学校保健安全 委員会共催
6	体験活動 親子の絆づくり（親子ふれあい教室）	体験活動・ 情報交換	1.5時間	運動会時の休憩 時間を利用して
7	1．講話 「地域で子どもを育てる」 2．ふれあい集会	講話・ 体験活動	5.0時間	もちつき集会時
8	1．講話 「あなたの身体を守ります」 2．情報交換会	講話・ 情報交換	1.5時間	持久走大会 終了後
9	体験活動 「こどもに伝えるために ～読み聞かせ伝授法～」	体験活動	1.5時間	学習発表会時

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

このモデルは，小規模校を対象とした家庭教育学級のプログラムです。

小規模校であるために，全保護者が家庭教育学級生であるので，たくさんの方が参加できるようにするためには学校行事とタイアップし，その後に家庭教育学級を実施する形式をとっています。（保護者の負担にならないようにしながら，最大限の効果が出るように工夫する必要があります。）

この家庭教育学級を実施するにあたっては，地域とのつながりを大事にしながら行う必要があり，だれでも参加できる雰囲気作りをすることも大切です。また，毎年同じ内容ではなく，複数年で計画することも大切です。全保護者が参加するため，毎年学習内容を工夫する必要があります。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム⑤

複数校が連携した家庭教育学級（近隣学校合同型）

1 家庭教育学級のテーマ

みんなで考える家庭教育学級 ～一人で悩まないで！～
（他校の保護者との交流を中心に）

2 家庭教育学級年間計画

回	A校		B校		時間	備考
	学習課題・内容	学習形態	学習課題・内容	学習形態		
1	1．開級式 2．講話 「ふりかえってみませんか？家庭の在り方を！」	講話・情報交換・親子給食	1．開級式 2．講話 「思いやりの心を育てるために」 3．体験活動 「親子でストレッチ体操を楽しもう」	講話・情報交換・体験学習	3.0時間	
2	講話 「思いやりの心を育てるために」	講話・情報交換	講話 「ふりかえってみませんか？家庭の在り方を！」	講話・情報交換	1.5時間	
3	シンポジウム 「子どもの成長，その喜びと悩み」	シンポジウム形式	シンポジウム 「子どもの成長，その喜びと悩み」	シンポジウム形式	1.5時間	
4	グループ検討会 「子育てのための井戸端会議」	少人数グループ検討会	グループ検討会 「子育てのための井戸端会議」	少人数グループ検討会	1.5時間	
5	講演会 「地球のステージ」	講演会	親子給食・情報交換 「親子歯みがき教室」	親子給食・情報交換・体験活動	2.0時間	
6	講話 「子どもたちの心と身体」	講話・情報交換	体験学習・情報交換 「三世代・親子ふれあい」	体験学習・情報交換	1.5時間	
7	講話 「社会の宝としての子育て」	講話・情報交換	講話 「社会の宝としての子育て」	講話・情報交換	1.0時間	

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

このモデルは，平成19年に笠間市の小学校で実施した内容です。この講座は全７回で計画し，２校の学校が連携し，自分の学校の家庭教育学級にこだわらず，自分の都合に応じてどちらかの学級に参加できるオープン参加型の場を設定しました。

この学校では，給食試食会や音楽や映像を通した講演会等を実施し，合同家庭教育学級（シンポジウム形式）として全市に募集を呼びかけたことも特徴の一つです。

この家庭教育学級を実施するにあたっては，家庭教育コーディネーターの存在が重要視されますが，実施できる内容を考え，複数校で行う家庭教育学級の手段として有効です。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム⑥

食育を中心とした家庭教育学級（課題解決学習型）

1 家庭教育学級のテーマ

親として大切にしていきたいもの！（食育を中心に）

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考
1	1．開級式・組織づくり・年間計画 2．講話　「栄養バランスを考えた食事」	講話	2.0時間	
2	「親子で簡単に作れる朝食」	体験活動	2.0時間	
3	「食物アレルギーについて考える」	講話	2.0時間	
4	「健康と歯磨き」	講話	1.0時間	
5	「おやつについて」	ワークショップ	1.0時間	
6	「親子で手作りおやつ」	体験活動	2.0時間	
7	1．体験活動　「給食を試食しよう」 2．閉級式	体験活動	2.0時間	

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

講師については，各学校・市町村の栄養教諭や管理栄養士を活用しています。歯みがきについては，学校歯科医に依頼しています。

調理実習を行うため，衛生面に特に気をつける必要があります。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム⑦

ワークショップを中心とした家庭教育学級講座

1 家庭教育学級のテーマ

親育ちプラン ～親として，ともに学ぼう～

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考
1	1．開級式 2．年間活動計画について 3．家庭教育学級とは	講話	1.5時間	
2	子どもとかかわる ～一方通行の言葉で話をしていませんか～	ワークショップ	1.5時間	
3	子どもの心を育てる　～思いやりの心を育てる～	ワークショップ	1.5時間	
4	子育ての心得　～父親の子育て～	ワークショップ	1.5時間	
5	小学校入学前に ～このようなことができていますか～	ワークショップ	1.5時間	
6	1．子育てメモリー・子育てについて語ろう 2．閉級式	情報交換	1.5時間	

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

ワークショップを中心とした講座のため，保護者同士のふれあいの時間が多くなりました。
また，自分の考えや思いが相手によく伝わり，意思の 疎通ができました。
学習シートの活用をすることで，ねらいがはっきりとするため，必ず用意します。
ファシリテーター（進行役）が，講座のねらいや時間の使い方，まとめなどをしっかりと行なう必要があります。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム⑧

体験活動を中心に，郷土愛を育む家庭教育学級（体験活動重視型）

1 家庭教育学級のテーマ

親子のふれあい・絆を深めよう ～体験活動を通して～

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考
1	1．開級式 2．年間活動計画について 3．家庭教育学級とは	講話	1.5時間	
2	地域の歴史・伝統・文化を学ぼう	講話	1.0時間	
3	共同でつくる喜びを味わおう ～○○焼体験～	体験活動	2.0時間	
4	昔の遊びをやってみよう ～伝承遊び体験～	体験活動	2.0時間	
5	地域をきれいにしよう ～クリーン作戦～	体験活動	1.0時間	
6	日本の文化を体験しよう ～茶道体験～	体験活動	1.5時間	
7	1．子育てについて語ろう 2．閉級式	情報交換	1.5時間	

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

体験活動が中心となるため，親子が楽しみながら活動できます。

また，親子の共同制作を通して，親子のふれあいの場が多く設定できます。

活動のみにならないよう，家庭教育の趣旨・目標を１講座ごとに確認をする必要があります。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム⑨

NPO団体と連携した家庭教育学級

1 家庭教育学級のテーマ

親子のふれあい ～子供の学習意欲をはぐくむ家庭教育の在り方～

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考
1	生きる力ってなあに？	ワークショップ ミニレクチャー	1.5時間	
2	遊びを学ぶ，学びを遊ぶ	講話	1.0時間	
3	カプラで遊ぼう ※カプラとは，建築家が作ったフランスの積み木です。	ワークショップ	1.5時間	
4	人はいつ学ぶ？	ワークショップ ミニレクチャー	1.5時間	
5	私たち大人にできること	講話	1.0時間	

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

学ぶことと遊ぶことのバランス，遊びの中に大切な学びがあること等を盛り込み，子どもが本来もっている学習意欲を高める家庭教育の在り方について考えることができます。
ワークショップを行うことで参加型の学習になり，楽しい雰囲気で実施することができます。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

モデルとなるプログラム⑩

防災に関する内容を中心とした家庭教育学級

1 家庭教育学級のテーマ

がんばっぺ！いばらきの親子 ～ 3.11を忘れない～

2 家庭教育学級年間計画

回	学習課題・内容	学習形態	時間	備考
1	1．開級式 2．年間活動計画について 3．家庭教育学級とは	講話	1.5時間	
2	こんな親でありたい	講話	1.5時間	家庭教育ブック使用
3	東日本大震災，その時親は？ 子は？	情報交換	1.5時間	
4	東日本大震災，その時地下では何が起こった？	講話	1.5時間	
5	原子力って？ 放射線って？ 放射性物質と日常生活への影響	講話	1.5時間	
6	こんなところまで・・・・・風評被害とその対策	講話	1.5時間	
7	つくばサイエンスツアー（防災科学技術研究所を含む）	体験活動	6.0時間	
8	おもしろ理科先生体験講座	体験活動	1.5時間	
9	次に災害が起こったら，学校は，家庭は，地域は何をすべきか？	情報交換	1.5時間	
10	1．子育てについて語ろう 2．閉級式	講話・情報交換	1.5時間	家庭教育ブック使用

3 作成にあたって（工夫点，注意点）

東日本大震災をきっかけとして，防災や緊急時の連携などに重点をおきました。

※モデルとなるプログラムの時間や回数については，実態に合わせて変更し，御活用ください。

Ⅲ 家庭教育学級講座実践例

テーマ	「思いやりの心」を育てる
日　時	平成23年9月14日(水)　10:00～11:30
会　場	水戸市立妻里幼稚園
参加人数（対象者）	17名（年少～年長園児保護者）

講座実施のポイント

1 参加者が，家庭教育学級は親の学びの時間であるということを意識できるようにし，子育てに必要な情報交換の場を大切にして講座を組み立てている。

2 学習内容・ワークシート・司会進行等に保護者のアイデアを活かし，事前の話し合いと準備が十分になされていることが，成果に結びついている。

学習の形	フリートーク	準 備 物	進行表，ワークシート

時　間（分）	学　習　内　容	学級委員(学級長)さんのチェックポイント	役　割
導入（10）	1. 開会のことば ・「思いやりの心」についての提案（震災後の子どもたちの様子から気付いたことをもとに提案）	☆家庭教育学級委員長を中心に，事前に話し合いを行い，ワークシート等を作成しておく。 ・個人情報は，この場限りでの情報共有であることを伝える。	・家庭教育学級委員長が司会進行及び提案を行う。
話し合い（10）	2. フリートーク①(グループ) (1) テーマについて感想を出し合う。 (2) 言葉かけの体験を行う。 ・母親役と子役を設定し，子どもが元気の無い表情で帰ってきた時の親の言葉かけ(快い言葉かけと不快な言葉かけ)を行う。	☆テーマについては，事前に保護者に知らせておき，予め考えをまとめておいてもらう。 ・このテーマには正解はないこと，自由に多くの意見を出し合うよう促す。 ・グループの話し合いが活発になるよう，まず自分が話して，相手の話を引き出すという手法で行う。各グループに役員を配置する。	・年長児の保護者が司会をし，年少児の保護者がまとめの発表を行う。
記入（5）	(3) 振り返り ・どのような気持ちだったか，ワークシートに記入する。	・要点をまとめて簡潔に発言することが可能になるよう，活動を５～10分間という時間で区切ってテンポ良く行う。	
話し合い（10）	3. フリートーク②(グループ) (1) 聞き手の態度の体験を行う。 ・快い態度と不快な態度を行う。		
記入（5）	(2) 振り返り ・その後，どのような気持ちになるか，ワークシートに記入する。		
話し合い（10）	4. フリートーク③(グループ) (1)「言葉かけ」と「態度」に分けて，学んだことを話し合う。 ・親の言動を見て，子どもたちがどのように思い，成長しているかを話し合う。		
記入（5）	(2) 振り返り ・各グループのまとめをワークシートに記入する。		
発表（15）	5. グループ発表(全体)		・各グループ書記が「言葉かけ」と「態度」及びプログラムを通して気付いたことを発表する。

＊講座成功のコツ＊

フリートーク①のグループでの話し合いにおいて，日常の子どもたちの様子や親の対応についての意見が活発に出るようであれば，話し合いを時間で区切ってしまうことなく，そのまま継続して話し合わせることによって，受け身の状態から自主的な活動へと導くことができます。

学習内容のねらいをおさえ，参加者の意見交換の様子をよく観察し，柔軟に対応していくことも大切です。

※講座の時間配分や注意点について参考にしてください。

テーマ	父親の子育てを学ぶ
日　時	平成23年10月15日(土)　9:40～10:40
会　場	学校法人　嶋田学園 ドレミ幼稚園
参加人数（対象者）	27名（年少～年長園児保護者〔父親〕）

講座実施のポイント

1 子育てや家庭教育について，学ぶ機会の少ない父親を対象とした家庭教育学級を自主的に企画・立案した。
2 ロールプレイングなどの体験活動を取り入れ，子どもの気持ちや自分自身の振り返りの時間を設定したことで，学習内容を充実させた。

学習の形	講演および，体験活動	準　備　物	・ビデオデッキ　・ホワイトボード ・ロールプレイ用資料　・CDプレイヤー

時　間（分）	学　習　内　容	学級委員(学級長)さんのチェックポイント	役　割
開会（5）	1. 開会行事 （1）開会のことば（運営委員） （2）学級長あいさつ（家庭教育学級長） （3）講師紹介（運営委員）	☆家庭教育学級長を中心に，運営委員が事前に話し合いを行い，当日の流れや準備物の確認を行なっている。 ☆ビデオの設置や視聴への呼びかけなど，幼稚園担当者と協力して実施している。	・テーマに沿った実践ができる講師の選定については，市の生涯学習課に相談して，決定をした。 ・運営委員が司会・進行を務め，学級長が趣旨を説明した。
導入（3）	2. アイスブレイク （1）講師による自己紹介 （2）開会前に視聴したビデオの紹介 ・父親と子どもの関わり方について （3）アイスブレイクの実施		
講演会（20）	3. 講演 （1）子育ての基本は夫婦 （2）子育てについて ①子どもの特徴 ・発達段階に応じて ②子どもへの接し方 ・自己肯定感 ・コミュニケーション能力		
体験活動（25）	4. ロールプレイング （1）聴くことの大切さ （2）体験活動 ①子どもとの会話のしかた ②私は木です （3）リフレーミングについて	☆体験活動に必要な資料を配布したり，ロールプレイの進め方の見本になっている。 ☆活動人数の調整を行い，人数の足りないグループへの補助をし，積極的に活動できるよう言葉かけを行っている。	・グループ設定，ロールプレイの見本役を決めておく。 ・ロールプレイに必要な資料の配布をする。
まとめ（5）	5. 本時の振り返り ・子育てに対する意欲付け（詩の朗読）		
閉会（2）	6. 閉会行事 （1）謝辞（運営委員） （2）閉会のことば（運営委員）		・運営委員の１人が，子どもへの接し方について，今後できることを感想として述べる。

＊講座成功のコツ＊

普段，お互いに接することのない父親に対しては、導入段階が大切です。場を和らげる雰囲気（アイスブレイク）や学習への意欲を抱かせる教材（ビデオの視聴）の工夫が必要です。

学習の成果を上げるために，体験活動（ロールプレイング）を導入し，子どもへの正しい接し方や相手の気持ちを考える場面を設定したことで，学習成果を上げることができました。

まとめの段階では，詩の朗読や音楽の鑑賞など余韻を残す工夫もあり，今後の動機付けにふさわしい活動でした。

※講座の時間配分や注意点について参考にしてください。

テーマ	あなたの身体を守ります！ ～健腸生活していますか～
日　時	平成23年11月30日(水)　13:30～15:00
会　場	鉾田市立当間小学校　多目的室
参加人数 (対象者)	当間小学校　1年～6年までの保護者　18名 教職員・出前講師（企業：水戸ヤクルト株式会社　3名）

講座実施のポイント

1 企業が行っているアウトリーチ活動(出前講座)を活用し，保護者自身が自分の健康の大切さを意識させ，さらに子どもたちの身体を守るための知識を習得することを目的としている。

2 情報交換(井戸端会議)を実施し，参加した保護者同士が話し合いながら，日頃悩んでいる子育て等について考える時間を設けている。

学習の形	講話・情報交換	準　備　物	・パワーポイント　・ワークシート ・アンケート用紙等

時　間 (分)	学　習　内　容	学級委員(学級長)さんの チェックポイント	役　割
導入 (5)	※グループ編成 1. 開会の言葉 2. 講師紹介	☆４色にボールを袋に入れ，参加者に取らせグループ編成を行った。	・受付係（1名） ・司会者（2名） ・講師紹介（1名）
講話 (45)	3. 講話【企業における活動実践例】 「あなたの身体守ります」 (1) 腸にはどんな菌がすんでいるのでしょうか？ ・腸内細菌の大きさ ・腸内細菌の種類・働き ・腸内細菌のバランスを崩す要因 (2) 免疫って何？ ・免疫が働いている例 ・免疫力を下げる原因 ・免疫力を上げるためには？ ・免疫回復によるアレルギーの抑制 (3) 健腸生活ポイント ・ウンチチェック ・適度な運動でストレス解消 ・おなかの援軍を送り込む (4) 乳酸菌シロタ株の健腸効果 ・生きて腸に届くことがなぜ大切？ ・乳酸菌シロタ株の免疫調節作業	☆この部分については，出前講座の講師の方が主となって実践するため，役員も全員が参加者となれる。 ☆企業はいくつかの内容を用意しているので，事前の打ち合わせの中でニーズに応じた対応をしてもらえる。	・記録写真係（1名）
話し合い (30)	4. 情報交換会 (1) アイスブレーキング (2) 自己紹介 (3) 子どものよいところ (4) 今悩んでいるところ		
まとめ (5)	5. 閉会の言葉 (1) 謝辞 (2) アンケート記入	☆まとめるのではなく，余韻をもった終わり方を意識する。	・司会者（2名） ・謝辞（1名）

＊講座成功のコツ＊

①企業と連携できる場合には，事前の打ち合わせがしっかりできれば，当日は任せることができます。(打ち合わせは，企業・学校関係者・役員で話し合うことが大切です。)

②情報交換会は，日頃保護者が子育てについて悩んでいることをみんなで考える場を設けることが大切です。そのためには，何でも話すことのできる雰囲気作りができるリーダーがいるとよいでしょう。(今回は教職員が担当しました。)

③小グループでの話し合いを中心にした方がよいでしょう。

※講座の時間配分や注意点について参考にしてください。

テーマ	子どもの人権
日　時	平成23年11月16日(水)
会　場	土浦市立中村小学校
参加人数 (対象者)	10名

講座実施のポイント

1「子どもの人権」というテーマについて，ワークショップを通して学ぶことによって，生活と結び付けたり，意識の共有を図ったりすることができる。

2 事前に，委員を中心に講座のテーマについて話し合い，講師との連絡を密にすることで，充実した学習を行うことができる。

学習の形	ワークショップ	準　備　物	・A4のコピー用紙　・マーカー

時　間 (分)	学　習　内　容	学級委員(学級長)さんの チェックポイント	役　割
開会 (10)	1. 開会行事 (1) 開会のことば (2) 学校長あいさつ (3) 講師紹介	☆事前に，委員とその周辺の人たちに，子どもの人権に関わると思う“身近な”問題を考えてもらい，考えたことを基に，ワークショップのテーマを委員で話し合って決める。 ☆講師にテーマを伝え，当日の流れを確認する。	
導入 (3)	2. 講師自己紹介，今日のねらい		
(13)	3. アイスブレイク 「私の子育ての目標」 どんな大人になってほしいか？ 一人で考える(3分)→全体共有(1分×10人)	☆話しやすい場づくり，お互いを尊重できる環境を整える。	・一人一人がＡ４の紙にマーカーで記入する。
レクチャー (10)	4. ミニレクチャー 「15年後の社会」 15年後，子どもたちの活躍する社会はどんな社会だろう？ 環境は？経済は？子どもたちの仕事は？		
グループワーク (10)	5. グループワーク 「15年後の社会を生きるために必要な力」 15年後の社会を生きるために必要な力は何だろう？		
(15)	6. グループワーク 「しつけとは何か？」 15年後に必要な力としつけの関係 誰のためのしつけ？ 何のためのしつけ？		
レクチャー (15)	7. ミニレクチャー 「しつけと虐待」 しつけとは… 虐待とは… 子どもの人権の4つの柱		
まとめ (10)	8. 振り返り 今日，気づいたこと，感じたこと，学んだこと共有(1分×10人)		
閉会 (4)	5. 閉会の言葉 (1) 謝辞，感想 (2) 閉会の言葉		

＊講座成功のコツ＊

学級生の身近な問題からアプローチすることで，人権という難しそうに感じられるテーマを現実の生活と結びつけることが大切です。

ワークショップのテーマを学級生の問題意識から決定することは，学級生間に意識の共有を生み，その対応に関しても，共に考える機会をつくります。

できる限り，講師に任せるのではなく，学級生が講座の企画・運営に参加していける仕組みをつくることが，学級生の成長を促すと考えられます。

講座まで講師との連絡を密にすることが必要です。

※講座の時間配分や注意点について参考にしてください。

テーマ	「震災と心のケア」
日　時	平成23年11月5日(土)　10:00～12:00
会　場	ひたちなか市田彦公民館
参加人数（対象者）	23名（田彦小学校保護者）

講座実施のポイント
1 事前に担当学級生と話し合い，参加者の興味を引くテーマを設定した。
2 保護者が参加しやすいように，開催日時を土曜日の午前中に設定した。

学習の形	講演会・シンポジウム	準　備　物	・パソコン　・プロジェクター ・スクリーン　・アンケート用紙

時　間（分）	学　習　内　容	学級委員(学級長)さんのチェックポイント	役　割
導入（10）	1. 開会 ・主催者あいさつ，講師紹介	☆担当学級生が，事前に募集案内やアンケート用紙を作成しておく。	・担当学級生は，当日会場設営し，受付を担当する。
講話（50）	2. 講演会 テーマ「震災と心のケア」 講師 ・武蔵野東技能高等専修学校 教育統括副部長　天宮　一大 氏	☆事前に担当学級生と話し合い，テーマを設定しておく。 	
シンポジウム（50）	3. シンポジウム コーディネーター ・武蔵野東技能高等専修学校 教育統括副部長　天宮　一大 氏 シンポジスト ・ひたちなか保健所 所長　荒木　均 氏 ・茨城県水戸生涯学習センター 家庭教育に関する相談員　下司　良子 氏	 ※「シンポジウムって何？」という意見もあり，募集の際にはどのような講座内容なのかをわかりやすく記載し，参加しやすくする必要がある。	・マイクランナーをし，参加者の意見を取り上げる。
まとめ（10）	4. 閉会		・アンケートを記入後，提出してもらい，今後に活かす。

＊講座成功のコツ＊

- 講演会は，事前に担当学級生と打ち合わせをし，参加者が興味を引くテーマを設定することが最大のポイントです。
- 講座募集の際，講座内容(どのような内容で，どのような事が学べるのか)を分かりやすく記載すると参加しやすいとの声がありました。
- 開催日時は，やはり子供たちが学校にいる間の平日午前中が参加しやすいとの声が多くありました。

※講座の時間配分や注意点について参考にしてください。

Ⅳ 家庭教育学級領域例

※家庭教育学級体験講座として実施する場合は，講師と十分打合せをし、趣味的講座に留まらないような学習内容にするための配慮が必要です。

NO	学習項目	対　象	講　座　名	内　容	形　態	講　師　等	問い合わせセンター
1	人権教育	幼児･小学生(低)	あなたの良いところはね。	友達が作った作品を見ながら，良いところを見つける。	体験・フリートーク	社会教育主事･社会教育指導員 保育士	水戸・県北・県南
2		幼児･小学生(低)	みんな自分の子	みんな自分の子(江戸しぐさから)	学習会	社会教育主事･社会教育指導員 保育士	水戸・県北・県南
3		幼児･小学生(低)	みんな持ってる誕生日	誕生会を祝い，自分の存在や命の重みを知る。	体験・フリートーク	社会教育主事･社会教育指導員 保育士	水戸・県北
4		幼児･小学生(低)	お父さんお母さん大好き！	母の日・父の日参観を通して，家族について考える。	学習会	社会教育主事･社会教育指導員 保育士	水戸・県北
5		幼児･小学生(低)	異年齢との交流を通して	異年齢との交流を通して，優しさと強さを学ぶ。	体験活動・講話	社会教育主事･社会教育指導員 保育士	水戸・県北
6		幼児・小学生	外国の文化と習慣	外国の文化や習慣を知り，思いやりの心を育てる。	講話・学習会	国際交流協会指導員	水戸・県北・鹿行・県南
7		小学生(中･高)	「きもい」ってなに？	ちょっとした言動がいじめにつながることを学ぶ。	講話	社会教育指導員	水戸
8		小学生	生きる力をつける～いじめ・自立～	相手を思いやる心を育てる。	講話・情報交換	スクールカウンセラー	水戸・鹿行
9		小学生	子どもへの暴力防止プログラム	暴力から子どもの人権を守る。	講話・情報交換	インストラクター	水戸
10		小学生	人権について考える ～女性・子ども・高齢者など～	家庭の在り方について考える。	講話・学習会	相談員	水戸・鹿行・県西
11		小学生	子ども権利条約って何?	子どもの権利条約を知り，子どもの人権を守ることの大切さを学ぶ。	講話・学習会	大学教授	水戸・県北・鹿行
12		小学生・中学生	寸劇 「茨城弁で語る女性差別撤廃条約」	男女共同参画社会を親子で考える。	講話	市民活動団体 「はらんきょうの会」会員	県南・県北
13		小学生・中学生	朗読劇「この子たちの夏」	被爆者(広島・長崎)の体験手記朗読会を行う。	講話	市民活動団体 「はらんきょうの会」会員	県南・県北
14		小学生・中学生	インターネットにおける人権侵害	人権侵害から子どもを守ることの大切さを学ぶ。	講話・情報交換	相談員	水戸・県北・鹿行
15		中学生	アフリカの子供たち	国・言葉・肌の色の違いなどを学ぶ。	講話・ワークショップ	JICA／国際ボランティア	水戸・県北
16		小学生・中学生	子どもの人権	「子どもたちの働く社会」「子どもの権利条約を読む」「わたし，あなた，みんな」などの各講座を行う。	ワークショップ・ ミニレクチャー		水戸
17		小学生・中学生	相手を尊重した自己主張を学ぼう	アサーショントレーニング(自分と相手，お互いの人権を尊重した上で，自分の意見や気持ちをその場にふさわしく表現できるようにするトレーニング)を行う。	ワークショップ	ワークショップデザイナー	水戸
18		幼児・小学生	親子で学ぶ男女共同参画	男女共同参画について考える。	講話・学習会	社会教育主事	水戸・鹿行
19		小学生・中学生	多様性理解	「みんな違う」ということを学ぶ。	ワークショップ		水戸
20	情操教育	幼児･小学生(低)	子育て講座 「思いやり 編」	対人関係の基本である「思いやりの心」を育てるポイントを，子育ての経験者や教育現場の教師などから学ぶ。	講話・情報交換	元教員・大学教授など	水戸・県北・県南
21		幼児･小学生(低)	子育て講座 「家族との触れ合い方 編」	家庭においての家族の役割や子どもとの接し方など，子育ての経験者や教育現場の教師などから学ぶ。	講話・情報交換	元教員・大学教授など	水戸・県北・県南
22		幼児･小学生(低)	子育て講座 「家庭学習量・読書量アップ 編」	家庭での過ごし方について，学習や読書量を増やし，心豊かな子どもを育てるヒントを得る。	講話・情報交換	元教員・大学教授など	水戸・県南・鹿行
23		幼児・小学生	朗読や紙芝居の楽しさを味わおう	小動物を題材にしたお話を聞き，心を豊かにする。	講話	ボランティア団体	水戸・県北・鹿行・県南・県西
24		幼児・小学生	豊かな心を育てる	・音楽療法の現場から ・心を育てる本の選び方	講話・学習会・ 体験活動	音楽療法士・図書館司書	水戸・県北・鹿行・県南
25		小学生	心の発達を考える	親子のコミュニケーションについての講話。	講話	ふれあいサポート登録者	水戸・県南・鹿行・県西
26		小学生	より良い親子のコミュニケーション術	親業を通して，より良いコミュニケーションのとり方を学ぶ。	講話	親業インストラクター	水戸・県南・県西
27		小学生	盲導犬とのふれあい	盲導犬と人間との心の交流について考える。	講話	盲目のピアニスト	水戸・県北・県西
28		小学生	前向きな考えになれるように！	コーチングからストレスのないコミュニケーション能力を学習する。	講話 体験活動	コーチングインストラクター	水戸・県南・県西
29	食育	幼児･小学生(低)	食事のマナーと食の安全	親子給食を通して食事のマナーや食の安全を知る。	講話・体験活動	栄養士・栄養教諭	水戸・鹿行・県西
30		幼　児	生活のリズム	家庭のリズムを見直し，基礎的な食生活習慣のしつけについて学ぶ。	講話・体験活動	民間団体	水戸・県北
31		幼児･小学生(低)	みんな揃って「いただきます」	多くの人と食べることの楽しさを学ぶと共に「みんなが揃うまで待つ」がまんの心を育てる。	体験学習・学習会	保育士	水戸・鹿行
32		幼児･小学生(低)	親子で一緒のおやつ作り	親子で一緒におやつを作りながら健康と食に関係について学ぶ。	体験学習・学習会	調理師・栄養士	水戸・県北・鹿行・県南・県西
33		幼児･小学生(低)	お弁当に中身はなーに？	栄養のバランスを考える。	学習会	調理師・栄養士	水戸・県北・鹿行・県南・県西
34		幼児・小学生	子どもが喜ぶお弁当を作ろう	少しの工夫で見栄えがし，食欲をそそられるようなお弁当作りをする。	体験活動	ボランティア講師	水戸・県北・鹿行・県南・県西
35		幼児・小学生	食べて大丈夫ですか？	食中毒や食物汚染について学ぶ。	講話	ボランティア講師	水戸
36		幼児・小学生	食べ物の好き嫌いをなくそう	食の好き嫌いが人間形成にもかかわるという大切さを学ぶ。	講話		水戸・県南・県西
37		幼児・小学生	キレない子どもの食事	食から家庭生活を考える。	講話・体験活動	管理栄養士・栄養教諭	水戸・県北・鹿行・県西
38		小学生	朝ご飯をいっしょに作ろう	朝ご飯を食べる事の大切さを考える。	親子体験活動	ボランティア講師	水戸・県北・県南・県西
39		小学生	野菜を使ったお菓子作りをしよう	野菜嫌いの子どもでも，食べたくなるような野菜を使ったお菓子作りをする。	体験活動	ボランティア講師	水戸・県南・県西
40		小学生	親子で学ぶ食の安全	紙芝居を通して，子育てや食育の大切さを学ぶ。	講話	日本食育の会	県南
41		小学生	親子で体験！野外炊飯	野外調理を通して，食べ物と水の大切さを学ぶ。	体験活動	NPO法人ひと・まちねっとわーく会員 地域親人材バンク登録者	水戸・県北・県南・県西
42		小学生	親子料理教室	料理作りを通して，食べ物の大切さを学ぶ。	体験活動	ふれあいサポート登録者	水戸・県北・県南・県西
43		小学生・中学生	食物の大切さ	貧しい子供たち・アフリカの子供たちから学ぶ。	講話	JICA／国際ボランティア	水戸・県北
44		小学生	知って得する！子どもの「食と健康」	子どもの生活リズムに合った食生活についての講話。	講話	地域親人材バンク登録者	水戸・県北・県南
45		小学生	心を癒す家族の食卓	食から家庭生活を考える。	講話・情報交換	管理栄養士	水戸・県北・鹿行・県西
46		小学生(高) 中学生	食育講座「食事の栄養 編」	偏食による体への影響について，理論的に学ぶと共に実際に献立作りなどを行う。	学習会	栄養士・栄養教諭	水戸・県北・鹿行・県西

NO	学習項目	対　象	講　座　名	内　　容	形　態	講　師　等	問い合わせセンター
47	食育	小学生・中学生	私たちの食卓	世界の食卓から学ぶ。	ワークショップ		水戸
48		小学生・中学生	素材を知る(野菜と仲良し)	美味しい野菜の選び方。	講話	野菜ソムリエ	水戸
49		小学生・中学生	無理をしない食育	作って食べることの大切さを学ぶ。	ワークショップ ミニレクチャー	管理栄養士	水戸・鹿行・県西
50		小学生・中学生	家ごはんのすすめ	地産地消や食の安全，大切さを学ぶ料理実習。	講話・体験活動	栄養士　他	水戸・県北・鹿行・県南・県西
51		小学生・中学生	お米ってスゴイ	米の大切さを学ぶ。米粉の料理実習。	講話・体験活動	栄養士　他	水戸・鹿行・県西
52		小学生・中学生	簡単パーティメニュー	バランスの取れた簡単パーティーメニューを作る。	体験活動	元栄誉教諭	水戸・県北・鹿行・県南
53		小学生・中学生	食の大切さを知ろう	昔ながらの食生活を見直すと共に，食の大切さを考える。	講話	栄養士	水戸・鹿行・県西
54	健康・安全教育	幼　児	幼児安全法	子どもの理解と，けがの対応を身に付ける。	講話・体験活動	日本赤十字社	水戸・県北
55		幼　児	バイ菌いっぱいの手はだぁーれ？	手洗い指導を通して，感染の予防法を学ぶ。	講話	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸
56		幼児・小学生(低)	親子交通安全教室	交通安全体験学習 正しい横断と立証の仕方を学ぶ。	体験活動・学習会	交通安全協会	水戸・県北・鹿行・県南
57		幼児・小学生	自分の命を守ろう	子どもを犯罪や危険な箇所・不審者等から守ることについて学ぶ。	講話・体験活動	警察署員	水戸・鹿行・県南・県西
58		幼児小学生	災害時対策講話	震災などの災害時対応の講話から子どもの命を守ることについて学ぶ。	講話	防災科学技術研究所所員・消防署員	水戸・県南
59		小学生	親子で学ぼう！護身術	子どもを犯罪から守ることについて学ぶ。	講話・体験活動	警察署員	水戸・鹿行・県南
60		小学生(高)	『知っておきたい性教育』 ～子供の心と体を守るために～	子どもの未来について考える。	講話・情報交換	思春期アドバイザー	水戸・県北・鹿行・県南
61		小学生・中学生	子どものための法律知識	子どもに多いトラブルなどの対処法を知る。	講話	民間団体	水戸・県北
62		中学生	薬物乱用について学ぼう	薬物乱用の意味や薬物の種類，依存症など，薬物についての基礎的知識を学ぶ。	講話	薬物乱用防止指導員	水戸・県北・鹿行
63		小学生・中学生	子どもの暴力防止	CAPプログラム	ワークショップ	CAPスペシャリスト	水戸・県北・鹿行
64		小学生・中学生	携帯やネットの上手な使い方	インターネット・携帯の危険性について具体的な例を挙げた説明を受け，安全に活用できるようにする。	講話	茨城県メディア教育指導員・県警本部有識者	水戸・県北・鹿行・県南
65		幼　児	病院にかかっていいの？	小児科が大変混雑している現実を知り，本当に行く時期だったかを考える。	講話	小児科医師	水戸
66		小学生	知っておこう！男の子と女の子の体	児童期の発育を知り，不安のない子育てを行う。	講話	医師	水戸・県北・県南
67		小学生・中学生	救命救急法	年齢に応じたとっさの時の救急救命法を学ぶ。 AED講習会	講話 体験活動	市町村救命急救師 日赤救急救命	水戸・県北・鹿行・県南・県西
68		幼児・小学生(低)	たかが睡眠、されど睡眠	睡眠と健康について学ぶ。	学習会・情報交換	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸
69		小学生	健康な身体をつくろう	簡単にできる「親子体操」を学び，健康づくりへの意識や生涯にわたって運動をしようとする心を育てる。	体験活動	体育指導員	水戸・県北・鹿行・県南・県西
70		小学生	子どもの性の健康と科学	性教育ワークショップ	ワークショップ ミニレクチャー	水戸こどもの劇場	水戸
71		幼児・小学生 中学生	体と薬とサプリ	薬やサプリメントとの安全な付き合い方を知る。	講話	薬剤師	水戸
72		幼児・小学生(低)	親子で行う歯磨き教室 ～おくちア～ン～	親子歯磨きを通して，正しい歯磨きの習慣を身につける。	講話・体験活動	歯科衛生士	水戸・県北
73		幼児・小学校 中学生	放射線被ばくを考える	放射線被ばくから子どもたちを守るために必要なことを考える。	講話	原子力安全対策課・有識者	水戸・県北・鹿行
74		幼児・小学生 中学生	あなたの生活マナーは大丈夫ですか？	日常生活のマナーを見直し，子育てをするために必要なマナーを身に付ける。	体験活動	ボランティア講師	水戸・県南・県西
75	しつけ関係	幼児・小学生	がまんする心の育て方	自立できる子どもを育てる。	講話・情報交換	保健師・相談員	水戸・鹿行・県南
76		幼児・小学生	たくましさを子どもにどうつけるか	自立できる子どもを育てる。	講話・情報交換	保健師	水戸・鹿行・県南
77		幼児・中学生	学ぼう① 「親の役割と子どもに対するしつけ」	親の役割や子どものしつけに対して，基本的な内容を学ぶ。	講話・情報交換	大学教授など	水戸・県南
78		幼児・中学生	学ぼう② 「公共のマナーを身につけるために」	公共のマナーを身につけさせるために，親としてどのように接するのか，具体的な事例から学ぶ。	シンポジウム 情報交換	大学教授など	水戸・県南
79		小学生	江戸しぐさから学ぶ子育てしぐさ	江戸時代から受け継がれる子育ての心構えやマナーに関する講話。	講話	NPO法人ひと・まちねっとわーく会員	水戸・県北・県南
80		小学生	家庭の機能，家庭の教育的役割	子どもと家庭の役割について知る。	講話・話し合い活動	園長・校長	水戸・鹿行・県南
81		小学生	子どもの成長と子育て	子どもの成長過程における子育てについての講話。	講話・情報交換	NPO法人ひと・まちねっとわーく会員 地域親人材バンク登録者	水戸・県南
82		小学生	親が考える子どものキャリアプラン	子どもが主体的なキャリアを歩むための支援についての講話。	講話・ワークショップ	カウンセラー	水戸・県南
83		幼児・中学生	親子で学ぶ日常マナー	親子で体験する，あいさつや立ち振る舞いについての講話。	講話・体験活動	マナーアドバイザー	水戸・鹿行・県南・県西
84		幼児・中学生	お金のしつけ(金銭教育)	自立できる子どもを育てる。	講話・情報交換	ファイナンシャルプランナー	水戸・鹿行
85		幼　児	順番・順番	きまりを守ることの大切さを学ぶ。	体験活動・学習会	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸
86		幼児・小学生 中学生	笑顔であいさつ	気持ちの良い挨拶について考える。	学習会	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸
87		幼児・小学生 中学生	しつけを考える	しつけと虐待について考える。	ワークショップ ミニレクチャー		水戸
88		幼児・小学生 中学生	子そだてを考える	子どもと子どもの育つ環境について考える。	ワークショップ		水戸
89		幼児・小学生 中学生	子そだてを考える	叱らずに親も我慢しない子育てを考える。	ワークショップ		水戸
90		幼児・小学生 中学生	怒りのコントロール	怒りとは何か，怒りの取り扱いについて考える。	ワークショップ		水戸
91		幼児・小学生 中学生	傷ついた子どもを支える	児童養護施設で育つ子どもたちについて考える。	講話		水戸
92		幼児・小学生 中学生	発達障害の理解と支援を考える	発達障害の理解と支援について学ぶ。	講話	臨床心理士	水戸・県北・県南
93		幼児・小学生 中学生	自分を知ろう	気持ちのワークを行う。	ワークショップ	CAPスペシャリスト	水戸・鹿行
94		幼児・小学生	我が家とお隣の子育て事情	周りの意見を取り入れる機会をつくる。	フリートーク	社会教育指導員	水戸・県南
95		幼児・小学生	親思い，子思い	上手な褒め方や叱り方等を学ぶ。	講話	有識者	水戸・県南

NO	学習項目	対　象	講　座　名	内　　容	形　態	講　師　等	問い合わせセンター
96	しつけ関係	幼児・小学生	しつけは心のスパイス	家庭教育の大切さを知る。	講話	民間団体・心理学者	水戸・県北・県南
97		幼児・小学生	親子のふれあいを深めよう	コーチングや親業について学ぶ。	講話	ボランティア講師	水戸・県南・県西
98		幼児・小学生	集合時間を守りましょう	きまりを守ることと他人に迷惑をかけないことの大切さを学ぶ。	学習会・情報交換	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸
99		幼児・小学生	「生徒指導」に関する話	バイク事故で亡くなった子の話など，生徒指導の講話。	講話	元つくばみらい市教育委員会委員長	県南
100	体験活動	幼　児	楽しいお話を聞こう	心に響くようなお話を聞く。	体験活動	ボランティア団体	水戸・県北・鹿行・県南・県西
101		幼　児	五感を使って自然を感じよう	風・雨・雪遊びなどを通して，五感を使って自然に親しむ。	体験活動・ フリートーク	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸・県北
102		幼　児	お家に帰れないのはだーれ？	おもちゃなど使った物の片づけを学ぶ。	体験活動・情報交換	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸・県北
103		幼児･小学生(低)	移動動物園	生き物への思いやりの気持ちを育てる。	体験活動・学習会	日立神峰動物園　動物指導員	水戸
104		幼　児	おたまじゃくしってなーに？ 竹の子ってなーに？	成長の不思議と生物への思いやりの心を育てる。	体験活動・ フリートーク	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸
105		幼児・小学生	昔遊び	昔の遊びを通して，豊かな感性を育む。	体験活動	ふれあいサポートセンター登録ボランティア	水戸・県北・鹿行・県南・県西
106		幼児・小学生	牛乳パックで小物づくり	体験活動を通して，環境について考える。	講話・体験活動	ふれあいサポートセンター登録ボランティア	水戸・県北・鹿行・県南・県西
107		幼児・小学生	親子クラッシック教室	体験活動を通して，心をリフレッシュする。	講話・体験活動	音楽家	水戸・鹿行
108		幼児・小学生	手話にチャレンジ！	手話で行う簡単なあいさつや歌などを学習する。	体験活動	ボランティア団体	水戸・県北・県西
109		小学生	チラシや自然物を使っていろいろな物を作ろう	チラシや新聞でペン立て，種を使ってブローチを作る。	体験活動	ボランティア講師	水戸・県北・県南・県西
110		小学生	簡単な手話を使ってみよう	手話でのあいさつや簡単な表現などを学び，耳の不自由な人の立場に立って考える。	体験活動	ボランティア団体	水戸・県北・県西
111		幼児・小学生	音の出るおもちゃを作って遊ぼう	いろいろな材料を使って，音の出るおもちゃを作る。	体験活動	ボランティア講師	水戸・県北・県西
112		幼児・小学生	レクリエーションをしよう	室内や外で簡単なゲームを楽しみ，ふれあいを深める。	体験活動	ボランティア講師	水戸・県北・鹿行・県南・県西
113		幼児・小学生	自然を体験しよう！	ネイチャーゲーム・キャンプ・野外調理・ハイキング	体験活動	NPO法人ひと・まちねっとわーく会員 地域親人材バンク登録者	水戸・県北・鹿行・県南・県西
114		幼児・小学生	活きる力を考える	親子農業体験	体験活動	ふれあいサポート登録者 NPO法人ひと・まちねっとわーく会員	県北・県南
115		幼児・小学生	親子で体感～自然科学の不思議～	おもしろ理科実験教室	講話・体験活動	「おもしろ理科先生」登録講師	水戸・県北・鹿行・県南
116		小学生	自然はすばらしい	米作り・大豆作り・川遊びを通して自然の大切さを知る。	体験活動	民間団体	水戸・県北
117		小学生・中学生	茶道体験をしよう	茶道家から実際に茶道を学ぶことを通して，礼儀作法や日本文化を学ぶ。	体験活動	茶道家	水戸・県北・鹿行・県南・県西
118		小学生・中学生	将来は博士号	ものづくりや実験を通して，理科のおもしろさを知る。	体験活動	「おもしろ理科」登録講師	水戸・県北・鹿行・県南
119		中学生	地域をきれいにしよう	学区内や地域の道路，公園など公共の場所を親子できれいにすることを通して，奉仕活動の意義やボランティアの精神を養う。	体験活動	地域住民 社会教育主事	水戸
120		中学生	地域の伝統芸能・文化を知ろう	昔遊びや地域に伝わる伝承遊びや文化を実際に体験することを通して，地域の一員としての自覚や伝統を守ろうとする心を養う。	体験活動	地域住民	水戸・鹿行
121		小学生(高)	防災体験アンビリーバボー	災害時に役立つサバイバル飯炊きを体験する。	体験活動	おもしろ理科先生	水戸・県北・鹿行・県南
122		幼児・小学生	子どもの気持ちを感じよう！	体験活動を通して，ほめられる喜びを体感し，子どもとの接し方を考える。	講話・体験活動	各専門講師	水戸
123		幼　児	遊びと心の成長	レクリエーション・音楽鑑賞・演劇鑑賞など	体験活動	レク協会・個人	水戸・県北
124		幼児･小学生(低)	お父さんお母さんギュ！	親子体操を通して，スキンシップの大切さを学ぶ。	体験学習・学習会	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸・鹿行・県南
125		幼児・小学生	感性の時代 五感を使って親子で散歩	親子で散歩しながら，四季の移ろいを感じるとともに，親子の時間を大切にする。	体験・フリートーク	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸
126		幼児・小学生	絵本を見よう・紙芝居を見よう	絵本・読み聞かせを通して，豊かな心を育てる。	鑑賞・フリートーク	保育士	水戸・県北・鹿行・県南・県西
127		幼児・小学生	人形劇を楽しもう	豊かな心を育てる。	講話・体験活動	ふれあいサポートセンター登録ボランティア	水戸・鹿行・県南・県西
128		幼児・小学生	読み聞かせから広がる世界	豊かな心を育てる。	講話・体験活動	図書館司書・読み聞かせボランティア	水戸・県北・鹿行・県南
129	家庭教育ブック	幼児・小学生	親の役割	子育てを振り返る機会をもつ。	講話	保健士･個人(元幼稚園長)	水戸・県北・鹿行・県南
130		幼児・小学生	家庭教育を見直そう	家庭教育ブックや学習シートを活用しながら，子育ての心得や子どもの心を育てるためのノウハウを身につける。	学習会・情報交換	社会教育指導員 家庭教育推進員	水戸・鹿行
131		幼児･小学生(低)	お手伝い名人を育てよう	子どもの生活習慣について知る。	講話・学習会	社会教育指導員	水戸・鹿行・県南
132		幼児･小学生(低)	早寝・早起き・朝ご飯	子どもの生活習慣について知る。	講話・学習会	社会教育指導員・養護教諭	水戸・鹿行・県南
133		幼児･小学生(低)	上手になろう「『待つ』と『聞く』」	子どもの生活習慣について知る。	講話・学習会	社会教育指導員	水戸・鹿行・県南
134		幼児・小学生	もしも，子育てに自信がなくなったら・・・	家庭教育の現状について考える。	講話・情報交換	社会教育指導員	水戸・鹿行・県南
135		幼児・小学生	意欲的な学習習慣のつけ方	子どもの生活習慣について知る。	講話・情報交換	園長・校長	水戸・県北・鹿行
136		幼児・小学生	今，学校では	家庭と学校との連携を考え，共通理解を図る。	講話・シンポジウム	園長・校長	水戸・県北・鹿行
137		幼　児	子育ての心得～父親の子育て～	家庭における父親の役割についての講演会。	講話・情報交換・ワークショップ	NPO法人ひと・まちねっとわーく会員	水戸・県南・鹿行
138		小学生	子どもの心を育てる ～「思いやりの心」を育てる～	いじめ，登校拒否の具体的対策講話。	講話・ワークショップ	NPO法人ひと・まちねっとわーく会員 ふれあいサポート登録者	水戸・県南
139		小学生	親として～「子育ての責任は？」～	子育てセミナー	講話・情報交換	ふれあいサポート登録者	水戸・県南
140		小学生	子育てとの上手なつきあい方	日々を楽しく生きるための子育て講座	講話・情報交換	エッセイスト･カウンセラー	水戸・県南
141		小学生	子育て「大切にされること」	家庭教育・地域のコミュニケーションの重要性についての講話。	講話	元つくば市社会教育指導員	県南
142		小学生	家庭教育について	家庭教育に関する事例を交えた講話や家庭教育学級の在り方を学ぶ。	講話	元教育・子育て電話相談員 大学教授等	水戸・県南
143		小学生	生活習慣づくり	生活習慣のチェックシート作成し，家庭での取り組みを話し合う。	講話・話し合い活動	NPO法人	県北

NO	学習項目	対　象	講　座　名	内　容	形　態	講　師　等	問い合わせセンター
144	家庭教育ブック	小学生・中学生	子育ては親育ち	子どもを理解し，親の役割を理解し，自信をもって家庭教育を行うことを学ぶ。	講話	個人・民間団体	水戸・県北・県南
145		小学生・中学生	命の尊さ	命の大切さを学ぶことで，お互いを理解し尊重すること，自然や生物を愛護する心を培う。	講話	大学教授	水戸・県北
146		幼児・小学生 中学生	悩まない子育てをしよう！	母親が子育てに重く責任を負わないようにするための講話。	講話	大学教授	水戸・県南
147		幼児・小学生	お母さん頑張りすぎてないですか？	「おかあさんの役割って何だろう？」を考える。	講話	大学教授	水戸・県南
148		幼児・小学生	待ってみていられますか	家庭教育ブックの中から，フリートークを交えながら課題について考える。	講話 フリートーク	心理カウンセラー	水戸
149		幼児・小学生	子どもとのかかわり方を知ろう	家庭教育ブックや学習シートを活用しながら，子どもとの関わり方について学ぶ。	ワークショップ	社会教育指導員 家庭教育推進員	水戸・鹿行
150		幼児・小学生	みんな違ってそれでいい	思いやりの心を育てる。	講話		水戸・県南
151		幼　児	脱いだ靴は揃えましょう	公共性を身に付け，他人を思いやる心を育てる。	学習会	社会教育主事・社会教育指導員 保育士	水戸・鹿行
152		幼　児	幼児教育とはどうするの？	家庭教育ブックひよこを使って，幼児期の教育について学ぶ。	講話	家庭教育推進員・学識経験者	水戸・鹿行
153		幼児・小学生	上手なほめ方・叱り方	子どもとの関わり方を学ぶ。	講話・情報交換	スクールカウンセラー	水戸・県南
154		幼児・小学生	子育てに大切なこと何？	各年代ごとの子どもに対する向き合い方等について学ぶ。	講話	ボランティア講師	水戸・県南・県西
155	思春期問題	小学生(高) 中学生	思春期のメカニズムを共有しましょう	「わが子の気持ちが分からない！」と悩む前に，その状態を知ることからはじめる。	講話	思春期保健協会	水戸・鹿行・県南
156		小学生(高) 中学生	子どもの成長と親の役割	思春期の家庭の在り方	講話・情報交換	スクールカウンセラー	水戸・県南
157		小学生(高) 中学生	心と体の処方箋	思春期の子どもの心と体を知り，その対応を知る。	講話	有識者	水戸・県南
158		小学生(高) 中学生	学ぼう「青少年の非行」	青少年の特徴や問題行動，具体的な非行の事例などについて学ぶ。	講話	大学教授など	水戸
159		小学生(高) 中学生	子どもの気持ちに共感しよう	よりよいコミュニケーションをとるために，傾聴と共感の大切さを学ぶ。	講話・ ワークショップ	専門講師	水戸
160		小学生(高) 中学生	反抗期は心の成長の証	家庭教育の大切さを知る。	講話	民間団体・心理学者	水戸・県北
161		小学生(高) 中学生	思春期の問題行動とその対策	性教育についての講話。	講話	つくば国際短期大学非常勤講師	水戸・県南
162		小学生(高) 中学生	思春期の気持ちを知ろう	親子の会話がすくなる時期，親はどのように対処すればよいかを考える。	講話	大学教授	水戸・県南

＊お問い合せ先＊

水戸生涯学習センター
〒310-0054　茨城県水戸市愛宕町4-1
029-228-1313

県北生涯学習センター
〒319-1304　茨城県日立市十王町友部2581
0294-39-0012

鹿行生涯学習センター
〒311-3824　茨城県行方市宇崎1389
0299-73-3877

県南生涯学習センター
〒300-0036　茨城県土浦市大和町9-1
029-826-1101

県西生涯学習センター
〒308-0843　茨城県築西市野殿1371
0296-24-1151

平成 23 年度　学習プログラム開発事業

1　事業の目的

市町村が実施する家庭教育学級を支援するために，今日的な学習プログラムを開発し，各生涯学習センターにおいて，情報提供や相談事業が実施できるような体制づくりに資する。

2　研究テーマ

「今日的な『家庭教育学級プログラム』の開発」

3　組　織

役　職	氏　　名	所　属　・　職　名
委員長	長谷川　　馨	鉾田市立当間小学校　教頭
委　員	佐　藤　比呂美	水戸市内原中央公民館　社会教育主事
	常　井　裕　二	笠間市教育委員会生涯学習課　社会教育主事
	大　貫　千　尋	ひたちなか市田彦公民館　社会教育指導員
	横須賀　聡　子	NPO 法人水戸こどもの劇場　副代表理事
	山　形　菜　加	茨城県県北生涯学習センター　事業グループ職員
	松　代　由　美	茨城県鹿行生涯学習センター　社会教育主事
	黒　﨑　希　望	茨城県県南生涯学習センター　社会教育推進員
	井　上　明　雄	茨城県県西生涯学習センター　生涯学習指導相談員
	小　沼　公　道	茨城県水戸生涯学習センター　企画振興課長
	篠　崎　昌　子	茨城県水戸生涯学習センター　社会教育主事
	伊　藤　まゆみ	茨城県水戸生涯学習センター　ボランティアコーディネーター

平成 23 年度　学習プログラム開発事業
『家庭教育学級 親の学びナビ』
平成 24 年３月発行

編集・発行　茨城県水戸生涯学習センター
〒310－0054　茨城県水戸市愛宕町 4－1
TEL　029－228－1313
FAX　029－228－1633